

前に「映像授業に関する注意」について質問され、仕事の合間塗って考えてみたこと  
まとめ。ライブ授業と対比させて。

㊦：ライブ授業、㊧：映像授業、㊨：備考・対策

○ 授業

- ㊦ 1っ回切りノンストップ
- ㊧ 反復、一旦停止可能
- ㊨ 映像も、ライブの“つもりで”観る(難)<sup>1)</sup>

○ 授業時刻

- ㊦ 決まってる
- ㊧ 選べる
- ㊨ 選べることがダラケにつながる<sup>2)</sup>

○ 環境

- ㊦ 教室でライバルたちと
- ㊧ 自室(?)で一人
- ㊨ “一人で”何かと向き合う絶好の修行の場<sup>3)</sup>

○ ノート

- ㊦ 授業ペースで取るしかない
- ㊧ 停止しながらマイペースで取ることも可能
- ㊨ 遅れまいとしてノートを取ることで頭は活性化する<sup>4)</sup>

○ 見やすさ

- ㊦ 座席位置によっては…
- ㊧ 見やすい(でしょ!)
- ㊨ 短期間で膨大な量の映像収録手筈整えてくださった教務の人にマジ感謝。

○ 質問

- ㊦ できる
- ㊧ できない
- ㊨ (安易に)質問する人伸びないのは数学界の常識。おれは、質問できない㊧不自由さが、むしろプラスに働くと思う。

○ 緊張感

- ㊦ 否応なく、ある
- ㊧ 自分で律するしか(難)
- ㊨ 下記<sup>5)</sup>

<注> <sup>1)~5)</sup> : 共通しているのは自由であることの難しさ。対策は…

- 生活のリズムを維持。朝日とともに目覚める。無理なら母ちゃんに叩き起こしてもらえ。
- 朝、身だしなみ整える。寝ぐせ直す。少しはマシな服を着る。
- 視聴する時刻、場所を決める。儀式・ルーティーンは大切。
- 授業始まったら、ちゃんとセンセイに頭を下げて挨拶する。
- 背筋伸ばして聴講する。
- 講師がスベったら、うすら笑いする。
- 授業が終わったら、ちゃんと拍手する(麴町校方式)。
- 知人と情報交換。「あのセンセイの後ろ髪、はねてたな」とかでもオケ。嘘でもいいから、「おめえあの2・3番解けなかったんけダッセーな」とかハッタリかます。
- 復習は、紙に手で書く。
- 日に一度は歩く・坐る。自分の心をリセットする時間を持つ。

こんなとこかな～。どれもありきたりですまん。